



平成 29 年 10 月 31 日

各 位

会社名 日新製糖株式会社
代表者名 取締役社長 樋口 洋一
(コード番号 2117 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員 大久保 亮
(TEL. 03-3668-1246)

剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、平成 29 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）額を決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中間配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成 29 年 8 月 1 日公表)	前 期 実 績 (平成 29 年 3 月期)
基 準 日	平成 29 年 9 月 30 日	同左	平成 28 年 9 月 30 日
1 株 当 たり 配 当 金	35 円 00 銭	同左	33 円 00 銭
配 当 金 総 額	772,795,310 円	—	728,662,341 円
効 力 発 生 日	平成 29 年 12 月 1 日	—	平成 28 年 12 月 1 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 中間配当額決定の理由

当社は、「資本政策の基本的な方針」において、中長期的に株主資本利益率（ROE）向上を図り、成長投資と株主還元の充実を両立させることとしております。利益配分につきましては、連結配当性向（DPR）60%、または連結株主資本配当率（DOE）3%のいずれか大きい額を基準に配当を行い、このうち、第 2 四半期決算公表時における 1 株当たり年間配当予想額の 50%（1 円未満切上げ）を 1 株当たり中間配当額としております。

本日、平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算短信において公表いたしましたとおり、年間配当予想額につきましては、前回予想と変わらず 1 株当たり 69 円といたします。

これにより、中間配当につきましては、1 株当たり年間配当予想額 69 円の 50%（1 円未満切上げ）の 35 円を 1 株当たり中間配当額といたします。

(当社は、毎年 9 月 30 日を基準日として、取締役会の決議によって、会社法第 454 条第 5 項に定める中間配当をすることができる旨を定款に定めております。)

[1株当たり年間配当予想額の算定式]

連結配当性向（DPR）60%基準

期末1株当たり予想連結当期純利益 81.52 円の 60% = 49 円（1円未満切上げ）

連結株主資本配当率（DOE）3%基準

期末1株当たり予想連結自己資本 2,293.36 円の 3% = 69 円（1円未満切上げ）

連結株主資本配当率（DOE）3%基準 69 円の方が大きいため、69 円を1株当たり年間配当予想額といたします。

（ご参考）年間配当予想〔平成 29 年 8 月 1 日公表から変更はありません。〕

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
配当予想		34円00銭	69円00銭
当期実績	35円00銭		
前期実績 (平成29年3月期)	33円00銭	37円00銭	70円00銭

※なお、本日（平成 29 年 10 月 31 日）公表いたしました「ツキオカフィルム製薬株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載の株式取得が、当社の連結業績に与える影響につきましては、現在算定中です。

以上